

仕事によって得られるもの

この地球ではたくさんの人たちが職につき、働いています。働くと、色々なことをするため、疲れたりし損をします。でも働くのはそれ以上の得があるからです。例えばお金。収益がなければ、生きていくことは難しいです。さらに、得るものが嬉しかったり、喜ばしかったりすることが働く力の源になっているかもしれません。

もし、自分が一番やる気の出る「得るもの」がたくさん手に入る職につくことができれば、仕事が楽しくなったりするのではないかと思います、どんな「得るもの」があるのかを調べて見ようと思いました。

全ての職で得られるもの

お金

趣味を楽しんだりするにはお金が必要。さらに、生きていくためにもお金が必要。生活を豊かにするためにも、生活をするためにも必要なお金が手に入れば、嬉しくなり、やる気が増えるはず。

そしてここまで重要なお金を対価として出すぐらいのことをしたという気持ちが次へつながります。



ノウハウ、技能、経験

技能や経験が豊富であれば、数学のテストの問題と同じで「型」にはめて難なく素早くこなすことができるようになります。

つまり、有能な人材になることができます。そうすると、同じような職業への転職が有利になり、簡単になったりします。

これはお金のように形があるものではないものの、お金以上に今後特になるかもしれません。

実績

実績は、上のノウハウや技能、経験よりも具体的なものです。例えば、資格があれば「事務の経験があります」というより「簿記〇級を持っています」という方がインパクトがあり、転職などに有利になるかもしれません。

やりがい

仕事をするということは、会社や、社会に貢献したということです。職業によっては、依頼主や客のために尽くして貢献



したことになります。そうするとやりがいを感じることができます。

めんどくさくてやりたくないと思っていることでもこなすとやりがいを感じてしまいます。やりがいも形がないものですが、つい感じて意識しないところでやる気につながります。達成感と似ています。

人脈、対人関係



社会を一人で生きていくことはできません。もちろん仕事も例外ではなく、必ず他人が関わっています。例えば上司や部下、客やクライアントなどで

す。
人と関わることで対人関係のスキルも上がるし、人脈が増えるため、助け合いができるようになったり、視野が広がったりします。

例えば、違った意見を聞くことができます。違った意見を聞くと、考えを深めることができます。

また、一人では得られない情報や体験をすることができる。経験が増えると、上の経験のように自分に磨きがかかります。

また、困った時に助けてもらうことができます。一人で解決できない問題が起こった時に助け合うことができます。協力できる団体、集団ならではの特

権だと思います。

一部の職業で得られるもの

体力、身体能力

重いものを運ぶ職業や、力仕事では、こう言った力を得ることができます。しかし、最近は負担を減らすようにロボットや、アシストできるものを導入しているため、だんだんと減っていくはずです。

まとめ

働くことで色々なこと、ものを得られることがわかりました。ほぼほぼ全ての職業で同じようなものを得ることができうこともわかりました。

プライスレスな得られるものもあったため、得られるもので職業を選ぶのも悪くないと思いました。

